



## コースNo. 105 ★東京・大阪・名古屋発着

発達保障先進国 安心・平等の子育て  
フィンランド幼児教育・保育視察実習

8日間

旅行代金(東京発着) お一人様あたり

出発日	旅行代金(燃油サーチャージ込)
8月31日(月)	368,000円
名古屋・大阪発着追加代金	20,000円
札幌・福岡発着追加代金	22,000円
1人部屋追加代金	66,000円

※相部屋条件:6/15までの相部屋希望を受け付けます。期日以降はP5をご覧ください

- 食事:朝食6回・昼食1回・夕食1回(機内食を除く)
- 最少催行人員:4名(定員21名)
- 添乗員:添乗員は同行しません。現地係員がお世話します。
- 利用予定ホテル:  
ヘルシンキ…オリジナルソコスプレジデンティ、スカンディックパーク  
タンペレ…オリジナルソコスヴィア、スカンディックタンペレコスキピスト、スカンディックタンペレハーメンピスト、ホリデイインタンペレセントラルステーション、ラディソンプラザホテルターメレ、オリジナルソコスイルヴス、ソロコソホテルトルニタンペレ、スカンディックタンペレシティ、ラップランドタンペレ

※(フィンランドのツーリストクラスのホテルは基本的にバスタブなし=シャワーオンリーのお部屋が一般的です)

- 利用航空会社:フィンランド航空(エコノミークラス)
- パスポート残存期間:出国時3ヶ月以上+旅券の査証欄の空白が2ページ以上必要

※下記は旅行代金に含まれませんので、旅行代金と合わせてお支払いください。  
(2020年3月1日現在)  
日本国内の空港施設使用料(成田:2,130円、関空:2,780円、中部:2,620円)、旅客保安サービス料(成田:530円、関空:320円)および国際観光旅客税1,000円

【大阪・名古屋・札幌・福岡発着の方へ】  
国際線の発着は原則成田空港となり、国内線は別手配となります。満席等で予約できない場合はご利用いただけません。基本、往復羽田便での手配となり、羽田～成田空港間は各自移動、交通機関はお客様自身の手配・負担となります(移動例:リムジンバス片道3,200円/2020年3月1日現在)。また、乗り継ぎによって前後泊となる場合も宿泊費はご自身の負担となります。P33の注意事項を必ずご確認ください。  
※このツアーは視察費用の一部60ユーロを別途現地でお支払いいただいております。また視察訪問団の一員として簡単な土産(折り紙・おもちゃ等)を持参いただきます。詳しくはお申込後にご案内いたします。

### 日程

1	8/31(月)	成田-関空-名古屋 ヘルシンキ タンペレ	10:00~13:00 空路ヘルシンキへ(直行便または成田空港乗換え) 13:00~16:00 到着後、係員の出迎えを受けタンペレへ	☑☑☑
2	9/1(火)	タンペレ (公共交通機関・徒歩)	【午前】オリエンテーション 【午後】遊びの活動センター訪問 【夕刻】タンペレ市内観光(タンペレ大聖堂、ヒューニツキの丘など)	☑☑☑
3	9/2(水)	タンペレ (公共交通機関・徒歩)	【午前】就学前教育施設および基礎学校(低学年)訪問 【昼】訪問先学校にて給食 【午後】保育行政担当官のレクチャー(地方自治体の幼児・保育行政について)	☑☑☑
4	9/3(木)	タンペレ (公共交通機関・徒歩)	【午前】保育園訪問-見学と保育実習 【午後】ネウボラ(健康相談所)見学 乳幼児の育ててに関わる地域ネットワークについて 18:00頃 フィンランドレストランにて夕食交流会	☑☑☑
5	9/4(金)	タンペレ (公共交通機関・徒歩)	【午前】タンペレ市内図書館訪問 学校等との連携及び児童図書コーナーについて 【夕刻】ムーミン美術館見学(自由参加) 右記参照 【午後】自由研修 OP オプション研修(別料金、自由参加)実施予定 特別支援または特色ある取り組みを行う保育園の訪問	☑☑☑
6	9/5(土)	タンペレ ヘルシンキ	係員の案内で、ヘルシンキへ ヘルシンキ市内観光をして夕刻ホテルへ (元老院広場・大聖堂、マーケット広場、エスプラナーティ通り北欧デザインショップなど) 希望により世界遺産オスメンリナ島やマリメッコアウトレットも(移動各自)	☑☑☑
7	9/6(日)	ヘルシンキ	ホテルチェックアウト後、出発まで自由行動 指定時間に再集合、係員とともに空港へ 16:00~19:00 各自チェックインし、空路、帰国の途へ(直行便または成田空港乗換え)	☑☑☑
8	9/7(月)	成田-関空-名古屋	08:00~11:00 着後、解散	☑☑☑

旅行企画・実施 全国大学生生活協同組合連合会 旅行センター

※上記日程は訪問先や講演者の都合により変更になる場合があります。  
※タンペレ市内の移動方法は、一部専用バスを利用する場合もあります。



フィンランドの幼児教育・保育政策は、国が家族を支援する福祉政策の一環として推進されてきました。女性が妊娠すると国の機関である国民年金庁(KELA)から「育児キット」がプレゼントされます。両親の育児休暇は充分保障され、前首相が在任中に「父親休暇」をとったことでも有名です。保育園は9か月から入園が可能で、「家庭保育」制度もあります。各家庭は、共働きかどうかにかかわらず、サービスを受ける権利があり、各自治体は保育を必要とするすべての家庭にサービスを提供する義務があります。現在、出生率\*は1.8程度で、就学前の子育て支援が出生率の向上にもつながっていると考えられます。  
(\*合計特殊出生率=人口統計上の指標で、一人の女性が一生に生む子供の数。日本は1.42)



左) 国民年金庁 (KELA) 事務所に掲示してある育児キット  
右) 保育園の庭にて(9月上旬です)

## フィンランドの保育 あれこれ

### ネウボラ(保健相談所)

国民の健康管理と医療行為に携わるネウボラ(日本の保健所に似た組織)も、子育てに大きくかかわっています。ネウボラは妊娠が確認されると「母親手帳」を交付、出産すると「子ども手帳」を交付します。両親の子育て相談や検診などに、地域の医師や保健士がかかわります。



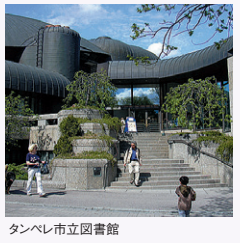
ネウボラの健診ルーム  
「フィンランドの子育てと保育」(明石書店)より

### エシコウル(就学前教育=プレスクール)

『フィンランドでは2000年より、すべての6歳児を対象に、無料の就学前教育(エシコウル)が行われています。この主な目的は「段差のない」教育というもので、子どもたちは、学校生活や学習の基礎となるスキルや知識、能力を一年を通して身につけていきます。幼児期の「遊び=学び」を大前提に、遊びを主体とした活動が展開されています。』

### タンペレ・ムーミン美術館 開館:火~日曜日(入場料:別途必要)

タンペレは森と湖に囲まれた大自然の中の文化都市です。人口は約23万人。フィンランドのハイテク産業の拠点で、環境問題対策や労働条件整備などをいち早く実施してきた都市でもあります。市の国際会議場タンペレホールにはムーミン美術館(2017年6月リニューアルオープン)が併設されています。原作者トーヴェ・ヤンソンの手による原画やムーミン谷のお話に登場するムーミンの家やいろいろなシーンがミニチュアで再現されています。  
毎回ツアーでは、美術館へご案内する時間を必ず設けております(入場料は各自支払)。希望者を対象にしたものですが、ほぼ全ての方が参加しております。



タンペレ市立図書館

※見学者氏(白梅学園大学教授・学長)推薦!

### 「フィンランドの子育てと保育」

藤井ニメエラみどり、高橋睦子著 (明石書店)



外国の保育を観察してきたあと日本に戻り、「うらやましい」とため息をつくことは意外と多いものです。でも、そういう場合、無条件の礼讃・移入になつたり、逆に無視したりとなりがちです。この本はちょっと違います。日本とフィンランドの両方の保育を体験している人が、実感にもとづいて公平に書いているからですし、他の人も現地の保育に実際に参画して書いているからです。それにしても、子どもは社会の責任で育てるのだという思想が徹底している国ですね。そこから学べるものは多いと思います。

藤井ニメエラみどりさんには、現地プログラムに協力いただいています。

### 参考図書

- ◆「子どもと家族にやさしい社会フィンランド」 渡辺久子、トゥーラ・タンミネ、高橋睦子編著 (明石書店)
- ◆「フィンランド 育ちと暮らしのダイアリー」 藤井ニメエラみどり (かもがわ出版)